

次世代IOL「Vivinex」は

What makes the next generation IOL
"Vivinex" so excellent?何が**凄い**のか

2015年4月17日(金) 7:45～8:45 第10会場 札幌市教育文化会館1F小ホール

座長

大鹿 哲郎 先生 (筑波大学)



ご略歴

1985年 東京大学医学部卒業
 1985年 東京大学医学部眼科学教室
 1988年 東京厚生年金病院眼科
 1991年 学位取得「房水蛋白濃度の生理的及び病的変動」
 1995年 東京大学医学部講師
 1997年 Louisiana State University, Visiting Assistant Professor
 1998年 東京大学医学部助教授
 2002年 筑波大学教授

座長のことば

「Vivinex」は、HOYAが満を持して世に問う、次世代IOLである。素材から製造方法、デザイン、インジェクターまでも作り替えた、真のnew IOLである。従来のiSert251や255の一部改良ではなく、すべてを一新したということは、今までのIOLに足らなかった部分を補い、良いところを総取りして詰め込んだ、現時点での最強IOLを企図したものと言ってよい。

素材は疎水性アクリルであるものの、屈折率をやや高くし、硬さおよび挿入時の形状回復性を最適化した。素材の安定性は極めて高く、過酷試験においてもグリスニングの発生は皆無である。後囊との接着性を上げるために表面改質を行い、またレースカットからキャストモールドに製法を変更することによって鋭いシャープエッジを成し遂げ、後発白内障発生率を可能な限り押さえ込んだ。光学部側面にはスリ加工を採用し、エッジグレアなどdysphotopsiaの発生を予防した。支持部の表面にはシボ面処理を施し、放出時に支持部が光学部に張り付かないよう工夫している。また、これまでも極めて評価の高かったプリロードインジェクターにさらに改良を加えることによって、1.8mm強膜切開創からの挿入を可能にするとともに、挿入時の操作性を向上させている。

本セミナーでは、Vivinexアイサートの世界デビューにあたり、我々の知る限りの情報提供を行い、臨床経験をシェアしたい。

講演 1

素材の**凄**さ

Excellent material

永田 万由美 先生 (獨協医科大学)

講演 2

デザインの**凄**さ

Excellent design

佐々木 洋 先生 (金沢医科大学)

講演 3

操作性の**凄**さ

Excellent efficiency

大鹿 哲郎 先生 (筑波大学)

次世代IOL「Vivinex」は何か**凄い**のか

What makes the next generation IOL "Vivinex" so **excellent**?

講演 1

素材の**凄**さ

Excellent material

永田 万由美 先生 (獨協医科大学)



- ご略歴**
- 1999年 獨協医科大学医学部卒業
獨協医科大学眼科学教室臨床研修医
 - 2001年 函館市吉田眼科病院勤務
 - 2003年 獨協医科大学眼科学教室助教
 - 2006年 済生会宇都宮病院勤務
 - 2013年 獨協医科大学眼科学教室助教
 - 2014年 獨協医科大学眼科学教室講師

講演 2

デザインの**凄**さ

Excellent design

佐々木 洋 先生 (金沢医科大学)



- ご略歴**
- 1987年 金沢大学卒業
 - 1987年 自治医科大学眼科入局
 - 1991年 米国オークランド大学眼研究所研究員
 - 1993年 自治医科大学眼科助手
 - 1996年 金沢医科大学眼科講師
 - 2005年 金沢医科大学眼科学教授
 - 2007年 中国医科大学客員教授
 - 2008年 東北文化学園大学視覚機能学専攻客員教授

講演 3

操作性の**凄**さ

Excellent efficiency

大鹿 哲郎 先生 (筑波大学)



- ご略歴**
- 1985年 東京大学医学部卒業
 - 1985年 東京大学医学部眼科学教室
 - 1988年 東京厚生年金病院眼科
 - 1991年 学位取得「房水蛋白濃度の生理的及び病的変動」
 - 1995年 東京大学医学部講師
 - 1997年 Louisiana State University, Visiting Assistant Professor
 - 1998年 東京大学医学部助教授
 - 2002年 筑波大学教授